キャラクター名: 小路　雪乃（こみち　ゆきの）

プレイヤー名:

シンドローム	エンジェルハィロゥ バロール	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	中学生
オプショナル		年齢	14（中学2年生）	性別	女
覚醒	死	衝動	嫌悪	初期侵食率	38 %
出自	安定した家庭	経験	喪失	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	4	1	0			5
精神	3	0	0			3
社会	1	0	0			1

HP	25
行動値	13
(非装備時)	13
戦闘移動	18
全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	5		ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志	3	1	調達	6	
運転：			芸術： 料理	1		知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ストライクチップ	射撃	5r+5	0	7		マイナーで使用、射撃攻撃の命中ダイス+2D

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
コネ：要人への貸し	
コネ：手配師	
思い出の一品	
兎の足	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Dロイス：転生者	P	N		
友達、だった子：笠羽　有栖	P 友情	N 悔悟		
お友達：夢咲 舞亜	P 憧憬	N 恥辱		
凄くいい人：夢咲 透	P 好意	N 劣等感		
友達になりたい：呪縛魔王	P 尽力	N 悔悟		
私の親友：笠羽　有栖　Sロイス	P 親友	N 執着		
協力してくれる子：心	P 誠意	N 隔意		

最大財産P: 14	残り財産P： 9

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：バロール	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	C値ーLV(下限値7)							
瞬速の刃	1	3	メジャー	武器	-	白/射	-	
効果：	判定ダイス+[LV+1]個							
因果湾曲	2	3	メジャー	-	範囲（選択）	シンドローム	-	
効果：	対象を変更する、シナリオLV回							
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動を行う、封鎖の影響を受けない。シーンLV回							
戦いの予感	1		セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：	行動値+[LV×10]、シナリオ1回							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：	衝動判定のダイス+LV個、初期侵蝕率+5							
オリジン：ヒューマン	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	シーン間判定の達成値+LV							
魔人の心臓	3	4	メジャー	-	-	シンドローム	100%	
効果：	命中するとラウンド間ダイスー[LV×3]個、マイナーで解除可							
罪人の枷	7	7	メジャー	武器	単体	白/射	100%	
効果：	攻撃が命中するとラウンド間対象の達成値-[SL×2]							
ウサギの耳	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：	聴覚の指向性を高める							
七色の直感	1	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果：	対象の感情をオーラの様に読み取る							
効果：								
効果：								

UGNイリーガルとして活動する中学生。その正体は過去に自殺した少女の転生者のレネゲイドビーイング。

少女は元々、少々夢見がちな事ぐらいが特徴のどこにでもいる普通の中学生だった。転機となったのは中学1年生の春、小学校の頃から仲の良かった友達がクラス内でいじめに遭った事だった。友達として何とかしなければと思ったが、元々引っ込み思案だったことや自分も虐められるかもしれないという恐怖で体が震え、いじめに加担だけはしなかったものの何か行動を起こすことも出来ず、結局は傍観するのみで徐々にその友達と話す機会も減っていった。ある日を境に友達は不登校になり、その一週間後には心を病んで転校して行ったと朝のホームルームで聞いた時、少女は愕然とした。自分がの時勇気を出していじめを止めていれば、あるいは友達にもっとこまめに声をかけていれば。結局は我が身可愛さにただ傍観しているだけだった自分に気付き、深く後悔し、そして絶望した。

繊細だった少女はこの事で強く思いつめてしまった。「私は友達より自分を取ったんだ」「友達が本当に辛い時に見て見ぬふりをした、意気地なしの薄情者だったんだ」と何度も自分を責めた。感受性の強さが災いし自分を追い詰めすぎた少女は、若さゆえの浅慮さも重なり自分に絶望した結果最悪の決断をしてしまう。その日、少女はマンションの上から飛び降り、彼女の短すぎる一生は終わった。……終わった、はずだった。

少女はアスファルトの上で目を覚ました。確かに飛び降りたはずだったが、五体満足どころか体には傷一つなく、それどころか今まで感じたことがない力に満ち溢れていた。予想しなかった事態に呆然としていると、しばらくしたのち数人の人物が現れ、少女を（半ば強制的に）保護した。その人物達はUGNという組織のものだと名乗り、彼らは少女に「オーヴァードに覚醒した」と告げた。

UGNの職員に支部まで案内された少女は、そこでオーヴァードについての説明と身体検査を受ける事となった。そこで現在の少女の肉体はレネゲイドの集合体・レネゲイドビーイングとして変性しており、恐らくは死亡する直前彼女の肉体にレネゲイドビーイングが接触、融合する事により彼女の肉体そのものをレネゲイドビーイングとして転生させたのではないかと推測された。何故融合したレネゲイドビーイングではなく少女の記憶と精神がメインとなって残されたのかは解明されなかったが、少女はこれを「神様がもう一度与えてくれたチャンス」だと感じた。一度自ら命を捨てようとした自分に、もう一度与えてくれたチャンス。次の私は、もっと勇気を持った私になろう。友達だけじゃなく、誰かが困ってる時に声をかけ、手を差し伸べられる自分になろうと決めた。